

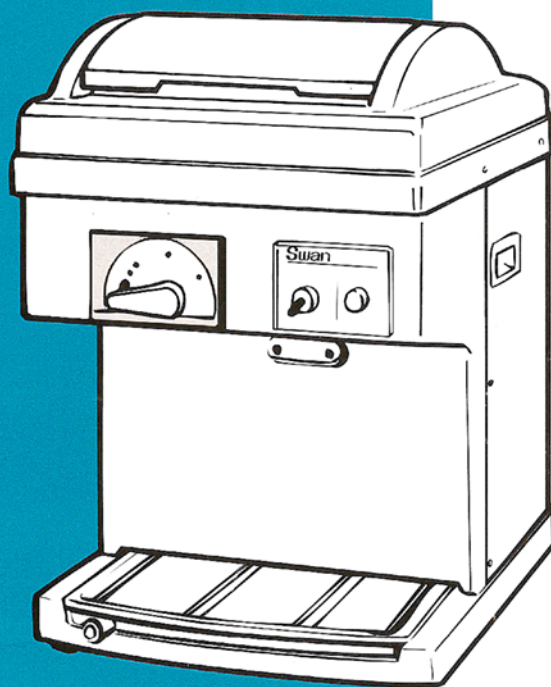
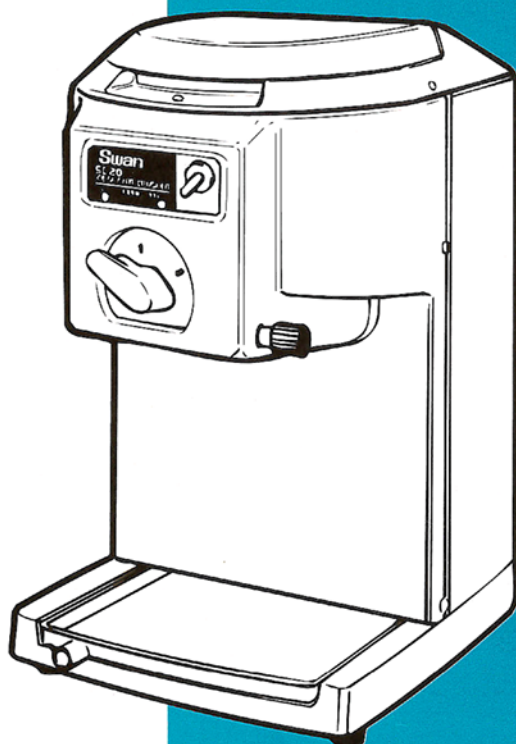


バラ氷専用電動式氷削機(シェーバー クラッシャー 兼用型)

取扱説明書

MODEL **SC-30**

MODEL **SC-15**



このたびはスワン氷削機をお買いあげいただきまことにありがとうございました。

製品を正しく安全に使っていただくために、ご使用前に必ずこの説明書を十分にお読みください。また、お読みになった後は大切に保存してわからない時は再読してください。

なお、製品の転売に際しても必ず共にお渡しください。

もくじ	製品を正しく安全に使っていただくために……	1・2
	各部の名称と働き (SC-30) ……………	3
	(SC-15) ……………	4
	ご使用のしかた (SC-30) ……………	5
	(SC-15) ……………	6
	刃物の交換のしかた ……………	7
	Vベルト張力調節・取替方法について ……………	8
	氷が削れない場合の原因と処置 ……………	9
	寸法図・仕様 ……………	9
	使用刃物原寸図 ……………	10
	保証書・保証とアフターサービス ……………	裏表紙

製品を正しく安全に使っていただくために これだけは守ってください

安全にご使用いただくために

- 本製品はバラ氷専用の業務用氷削・氷砕兼用機です。
他の用途には、ご使用にならないでください。
- 本取扱説明書を最後までお読みになり、
使用上の注意事項、使用方法など十分ご理解のうえで正しく
ご使用ください。
(お子様など正しい取扱いを十分知っていない人、正しい操作が出来ない人
には絶対に使わせないでください。)
- 本製品は電気製品です。
感電事故防止のため必ずアースを取り付けてください。
- 使用電源は、
単相100Vをご使用ください。
△(タコ足配線、継ぎ線はしないでください。発熱による危険や電圧低
下による故障の原因になります。)
- 本体に水をかけたり、
水の中に入れないようにしてください。
- 機械の設置は水平で丈夫な場所、
また、水滴等が落ちてもし差し障りのない所に置いてください。
- 本体カバーは樹脂製ですので、
直射日光の当たる場所や熱器具の近くに置いたり、お手入れ
等でシンナー類を使うと変形や故障の原因になります。



使用上のご注意

- 刃物は非常に鋭利で危険です。
受傷しないよう取扱いには十分注意してください。
- 氷削室(円盤内)には絶対に、手を入れないでください。
もし、お手入れ等に入れる時は、電源スイッチを切りプラグも
コンセントから抜き、

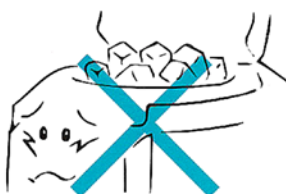
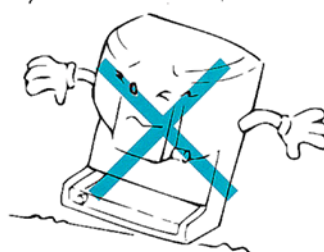
SC-30の場合は

刃物の調節ツマミを右に廻して細かくしてから行ってください。

SC-15の場合は

刃物の調節ツマミを左に廻して細かくしてから行ってください。

- 氷の投入量は、
氷削室(回転筒)の上から約1cm以上空くようにしてください。
多く入れすぎますと氷が飛び出し危険です。また、フタスイッチが
作動しなくなります。



製品を正しく安全に使っていただくために これだけは守ってください



使用上のご注意

●氷以外の異物を

氷削室に投入しないようご注意ください。刃物の損傷、モーター故障の原因になります。

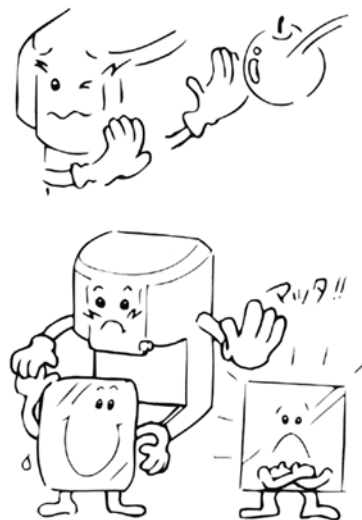
●冷凍庫に保管された白く硬くなった氷を、

すぐに削りますと刃物の損傷の原因になります。氷がある程度透明のゆるめた状態になってからご使用ください。また、氷は氷削室内に放置しないでください。氷が刃物部に溶けて食い込みモーターが廻らなくなり故障の原因になります。

●電源に発電機を使用しないでください。

(発電機使用時の故障は責任をもちません。)

やむを得ず一時的にご使用の場合は必ず出力1.5kw以上の交流100Vの発電機をお使いください。出力1.5kw以下の場合、本機のモーターが焼損する恐れがありますので使用しないでください。



保守・点検

●使用前に必ず氷削室、氷出口を掃除して衛生的にし、 氷削室に氷以外の異物がないことを確認してください。

●常に安全に効率よくご使用いただくため定期点検をしてください。

刃物の先端部が摩耗したり折損したものを、そのままご使用になっておきますとモーターやベルト等に無理をかけることになり故障の原因となりますから早めに新品と交換してください。また、各部取付けネジがゆるんでいないか点検し、もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

●一日の営業終了時、また異常および点検の時は電源スイッチを切り、

電源プラグもコンセントから抜いてください。プラグをコンセントから抜く時はコードを引っばらずプラグを持って抜いてください。

●シーズン終了後や長時間使用しない時は、

刃物を取り外し、手入れ後塗油し、油紙等で包み保管してください。

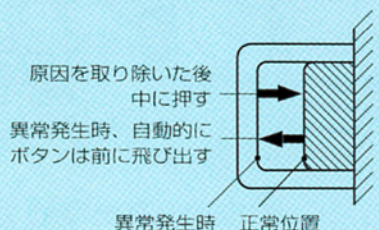
本体は柔らかい布で水分を取り去り十分乾かしてから湿気の少ないところに重量物を上から乗せないようにして保管してください。



各部の名称と働き (SC-30)

プロテクター (モーター保護スイッチ)

刃物部や回転部のトラブルでモーターが回転できなくなった場合にモーターの損傷（過電流が流れる）を防ぐために自動的に機械が停止します。この場合、電源スイッチを切り（プラグもコンセントからはずしてください）原因を取り除いてからプロテクターを押してください。モーターは自動的に復帰します。



シェーバー・刃物取替・クラッシュ切替えレバー

左の穴がシェーバー、右がクラッシュ、真中のオレンジの位置は刃物の取替え時に切替えてください。レバーは一度、手前に引き左右に廻してください。

安全スイッチ(フタ内部)

フタが開いている時は、機械が運転しないようになっています。氷を削られる時は必ずフタを閉めてください。また投入口内に大量の氷を入れますとフタが浮き上がりスイッチが入らず運転しなくなります。

フタ

ヘッドカバー

始動スイッチ

氷を削る時は、スイッチを上(入)にしてください。削り終わりましたら下(切)にしてください。

本体カバー
(サイドカバー)

フロントカバー

ベース

台ゴム

刃物

ガイドチューブ

水受皿 (排水ホース差込み口)

ご使用前に必ず排水ホース（口径の細い方）をしっかりと差し込み、排水口等、濡れてもよい所にひいてください。水受皿の引き出し量は本体より5cm以上は前に出さないでください。機械上部からの排水が内部で受けられません。

シェーバー粗さ調節ツマミ

粗くする時は、調節ツマミを反時計方向に廻します。細かくする時は、時計方向に廻します。

排水ホース

各部の名称と働き (SC-15)

安全スイッチ(フタ内部)

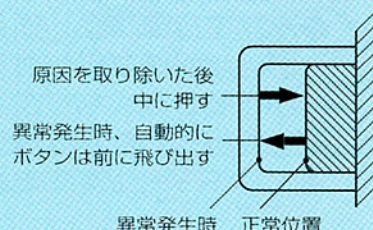
フタが開いている時は、機械が運転しないようになっています。氷を削られる時は必ずフタを閉めてください。また投入口内に大量の氷を入れますとフタが浮き上がりスイッチが入らず運転しなくなります。

始動スイッチ

氷を削る時は、スイッチを上(入)にしてください。削り終わりましたら下(切)にしてください。

プロテクター (モーター保護スイッチ)

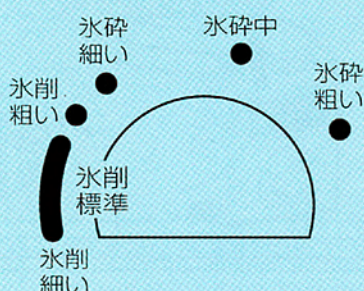
刃物部や回転部のトラブルでモーターが回転できなくなった場合にモーターの損傷(過電流が流れる)を防ぐために自動的に機械が停止します。この場合、電源スイッチを切り(プラグもコンセントからはずしてください)原因を取り除いてからプロテクターを押してください。モーターは自動的に復帰します。



粗さ調節ツマミ

ツマミの操作は一度手前に引き、廻してください。

- 氷削の場合…
氷削の範囲でえらべます。
- 氷砕の場合…
一度ツマミを手前に引きお好みの粗さの位置にしてください。
- 氷砕から氷削に変える場合…
モーターを廻しながら行ってください。



フタ

ヘッドカバー

刃物

ガイドチューブ

フロントカバー

ベルト張力
調節穴

水受皿 (排水ホース差込み口)

ご使用前に必ず排水ホース(口径の細い方)をしっかりと差し込み、排水口等、濡れてもよい所にひいてください。水受皿の引き出し量は中央部に横線がありますのでそれ以上は前に出さないでください。機械上部からの排水が受けられません。

本体カバー
(サイドカバー)

排水ホース

台ゴム

ベース

ご使用のしかた (SC-30)

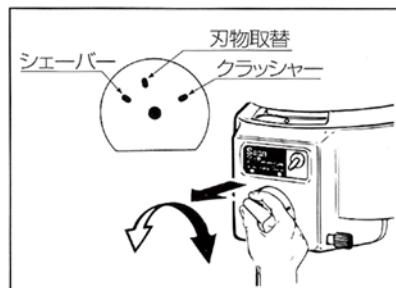
●ご使用になる前に

水受皿に排水ホース(口径の細い方)をしっかりと差し込み、排水時濡れてもよい所にひいてください。

1 ご使用になれるメニュー(シェーバー、クラッシャー)をレバーで切替えてください。

- レバーは一度、手前に引きお好みのメニューの位置に切替えてください。
- 真中の穴は刃物取替え用の位置ですので氷は削れませんのでご注意ください。

△(運転中は絶対にレバーを切替えないでください。)

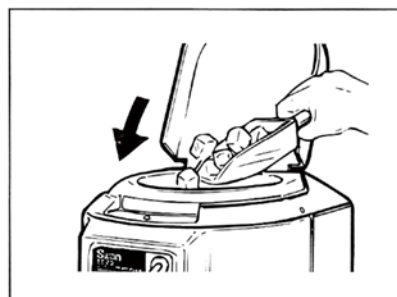


2 氷を投入口より入れ、フタを閉めます。

氷は必要量だけ投入してください。

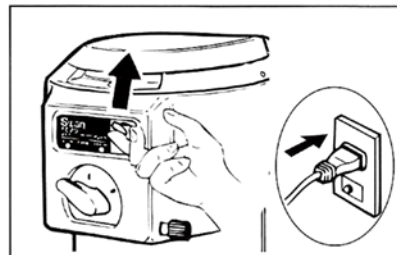
- 氷削室(回転筒)上部より1cm位少なめの量にしてください。氷が飛び出したり、フタが浮き上がりフタスイッチが作動しなくなります。
- 一度投入した氷は取り出すことはできません。

△(フタスイッチは故障の原因になりますから絶対に指先等で操作しないでください。)



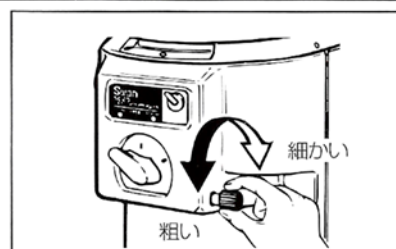
3 スイッチを入れてください。

始動スイッチを上(入)にしますとモーター始動と同時に氷削又は氷砕を開始します。



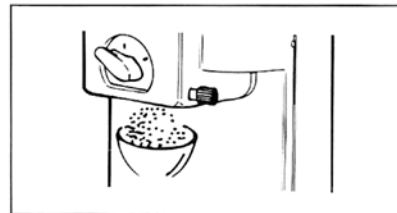
4 氷の粗さ調節をしてください。

- シェーバーは粗さ調節ツマミでお好みの粗さに調節できます。(出荷時は刃物の調節はゼロになっています。)
 - クラッシュは粗さの調節はできません。
 - ツマミはゆっくりと廻してください。
- 調節のしかたは「各部の名称と働き」をご覧ください。



5 容器で氷を受けてください。

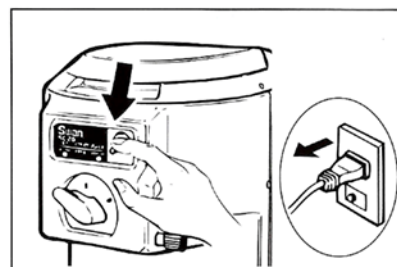
粗さ調節ができましたら氷の出てくる所に容器を持って行ってください。



6 スイッチを切ってください。

使い終わりましたら始動スイッチを下(切)にしてください。

- 氷削室には氷が残らないようにしてください。
 - フタスイッチでの入・切はしないでください。
- また、使用しない時はフタは必ず閉めておいてください。



ご使用のしかた (SC-15)

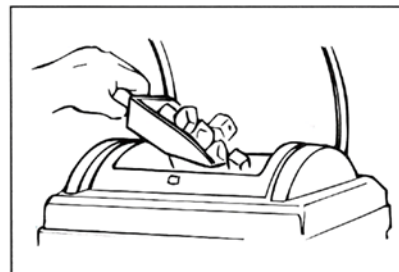
●ご使用になる前に

水受皿に排水ホース（口径の細い方）をしっかりと差し込み、排水時濡れてもよい所にひいてください。

1 フタを開けて氷を投入してください。

氷は必要量だけ投入してください。

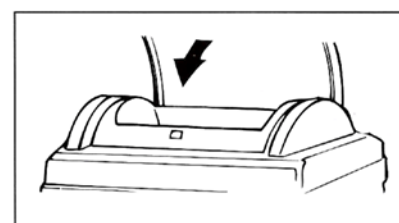
- 氷削室(回転筒)上部より1cm位少なめの量にしてください。氷が飛び出したり、フタが浮き上がりフタスイッチが作動しなくなります。
- 一度投入した氷は取り出すことはできません。



2 フタを閉めてください。

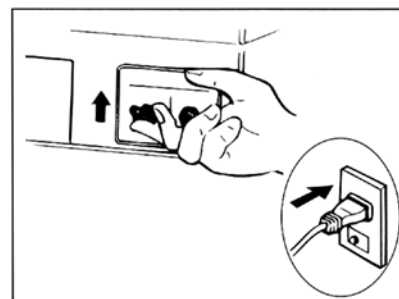
フタの内側奥に安全スイッチを取り付けていますので、フタを開けたままでは運転はしません。

⚠ (フタスイッチは故障の原因になりますから絶対に指先等で操作しないでください。)



3 スイッチを入れてください。

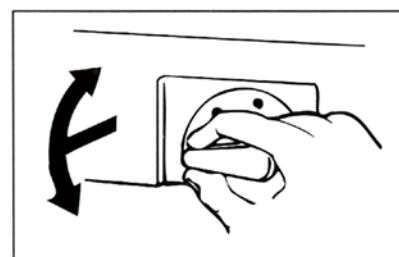
始動スイッチを上(入)にしますとモーター始動と同時に氷削を開始します



4 氷の粗さ調節をしてください。

粗さ調節ツマミで氷削か氷砕かを選んでください。

- 粗さ調節はゆっくりと行ってください。
- 調節のしかたは「各部の名称と働き」をご覧ください。



5 容器で氷を受けてください。

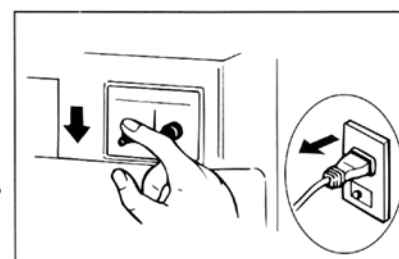
粗さ調節ができましたら氷の出る所に容器を持って行ってください。



6 スイッチを切ってください。

使い終わりましたら始動スイッチを下(切)にしてください。

- 氷削室には氷が残らないようにしてください。
 - フタスイッチでの入・切はしないでください。
- また、使用しない時はフタは必ず閉めておいてください。



刃物の交換のしかた

- 刃物は1シーズンに2～3度お取り替えください。刃物が切れなくなった時は付属刃物と交換してください。
- 新しい刃物のお求めは、製品を購入したお店にご相談ください。
- ステンレスの刃物は研磨することは困難です。新しい刃物と交換することをおすすめします。

SC-30

取りはずし方

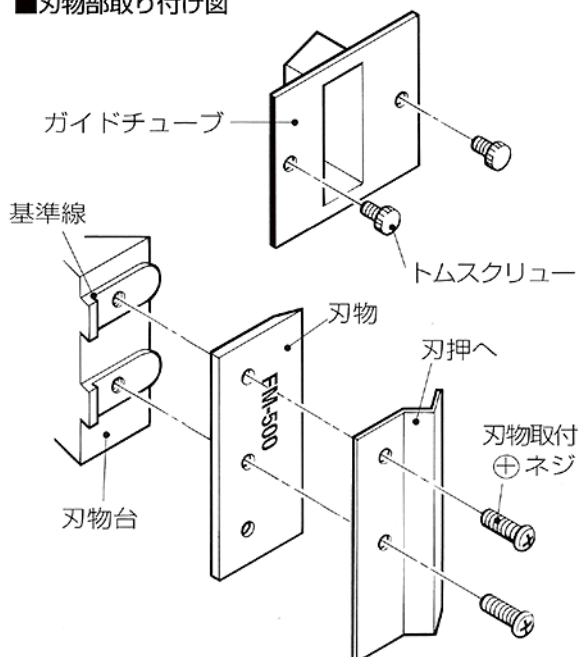
(刃物に気をつけてはずしてください。)

1. 前面の切替えレバーを中央の刃物取替え位置に切替える。
2. 氷出口のガイドチューブ取付ネジ2本をはずしてください。
3. 刃物取付 ⊕ ネジ2本をはずしてください。刃押へ、刃物がはずれます。

取り付け方

1. 新しい刃物 (FM-500のマークが見えるように) を刃物台の基準線に正確につける。
2. 刃物取付 ⊕ ネジを取付け、刃物が基準線から上がらないようにゆっくりと固定する。
3. ガイドチューブを取り付ける。

■刃物部取り付け図



SC-15

取りはずし方

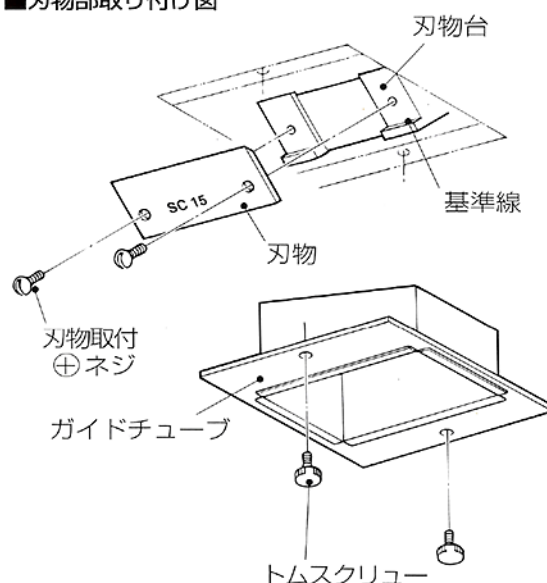
(刃物に気をつけてはずしてください。)

1. 氷出口のガイドチューブ取付ネジ2本をはずしてください。
2. 刃物取付 ⊕ ネジ2本をはずしてください。刃物がはずれます。

取り付け方

1. 新しい刃物(SC-15のマークが見えるように)を刃物台の基準線に正確につける。
2. 刃物取付 ⊕ ネジを取付け、刃物が基準線から上がらないようにゆっくりと固定する。
3. ガイドチューブを取り付ける。

■刃物部取り付け図



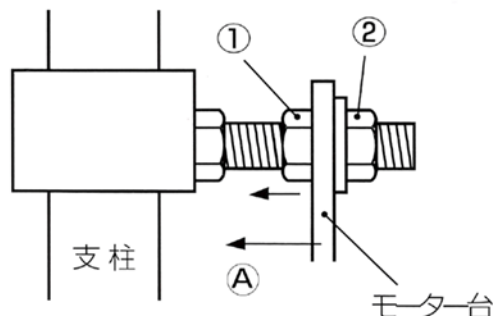
Vベルト張力調節方法 (ベルトがスリップしている時) (SC-30, SC-15)

●特殊ベルトを使用していますので、調節の必要はほとんどありませんが機械を頻繁に使われて氷が削りにくくなった時は一度調節してみてください。

SC-30

●Vベルト調節方法

1. ヘッドカバー、フロントカバー、サイドカバーをはずしてください。
2. 機械の左側の支柱上部に調節部があります。
3. ①のナットを約1cm位矢印方向(支柱側)にゆるめてください。
4. 投入口から氷を入れ、電源も入れモーターを廻しながら②のナットを時計方向に廻してモーター台をAの矢印方向に押しやってください。氷が正常に削られるようになればベルトは張られています。
5. ①のナットを反時計方向に廻してモーター台に付けてください。これで完了です。カバー類を取付けてください。

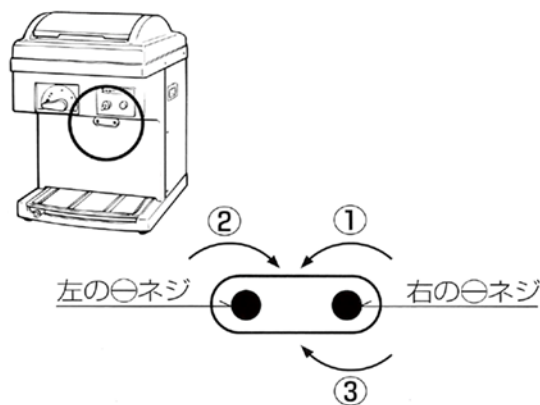


SC-15

●Vベルト調節方法

フロントカバー上部に調節穴があります

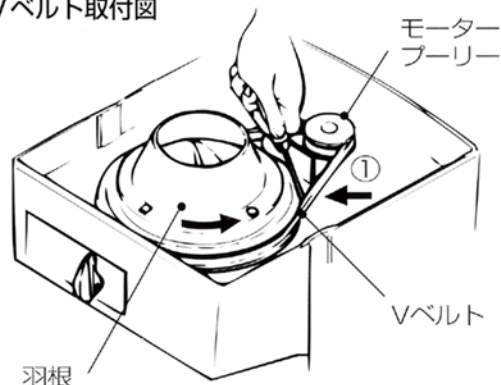
1. 右の穴の⊖ネジを左に廻してゆるめてください。
2. 左の穴の⊖ネジを右に廻してください。
氷を入れて正常に削られるようになればVベルトは張られています。
3. 右の⊖ネジを右に廻してしっかりと止まるまで締めてください。



●Vベルト取替方法

1. ヘッドカバーをはずしてください。
2. ドライバーで矢印①の所をこじ開けるようにしながら羽根を矢印方向に廻すとVベルトははずれます。
3. 新しいVベルトをモータープーリーに先に入れ、次に羽根にはめ込んで手で廻しながらVベルトを掛けてください。

■Vベルト取付図

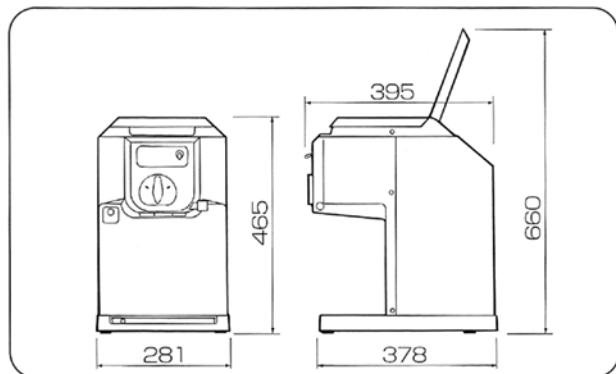


氷が削れない場合の原因と処置

症 状	原 因	処 置	プロテクター
回 転 し な い	モーターが回転しない	●電源プラグの差込みが不完全 ●コードの断線	●電源コンセントに確実に接続してください ●コードの取替
	モーターブリー	●モーターブリーが空回りしている	
	安全スイッチ	●スイッチの不良 ●コードの断線	
	氷削室(羽根)がゆるやかにしか回らない又は回らない	●異物が羽根に引っかかっている ●羽根締付ナットがゆるんでいる	●異物を取り去る ●ナットをしっかり締付ける
	Vベルト	●Vベルトが延びている ●Vベルトが切れかかっている又は切れている	
	刃 物	●刃物取替時で刃が出過ぎ羽根に当たっている	●刃物を正確に取付ける
削 れ な い	氷が削れなく音が激しくなる	●刃物がひどく痛んでいる	●刃物交換
	氷削室	●異物が氷削室の中に入っている	●氷削室の中を点検、異物があれば取除くこと
	氷が細かくなったり粗くなりすぎる	●刃物の取付けが悪い、刃が切れない	●刃物を正確に取付けるか刃物を取り替える
氷砕には影響はありません			
機械がゆれる	氷削室	●氷が片側に寄っている	●氷を平均に入れるか補充する
	刃 物	●刃物が切れなくなっている	●刃物交換
	氷砕には影響はありません		
	設 置	●設置が安定(水平)しない	●設置面を確認し丈夫な板を敷く
機械の設置面が濡れる	排水ホース	●排水ホースの差し込みが不完全	●差し込みを確認する
	水 受 皿	●前のほうに出過ぎていて	SC-30 ●水受皿が本体より5cm以上出ないようにする SC-15 ●中央部の横線まで奥に入れる

SC-30

寸法図

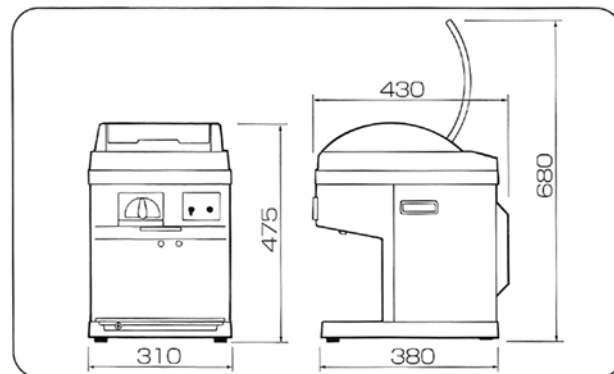


仕 様

- 電源 / 単相100V 50/60Hz
- 定格消費電力 / 175/160W
- 定格時間 / 30分
- 氷削能力(分・標準) / 1.2~3.0kg
- 氷砕能力(分・標準) / 8~10kg
- 外形寸法 / 横幅281×奥行395×高さ465mm
- 重量 / 20kg
- 付属品 / 替刃1枚、水受皿1枚、排水ホース1本
クラッシュ氷用容器

SC-15

寸法図



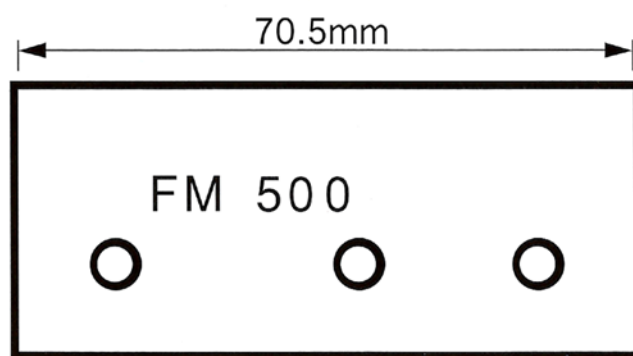
仕 様

- 電源 / 単相100V 50/60Hz
- 定格消費電力 / 180/155W
- 定格時間 / 30分
- 氷削能力(分・標準) / 1.2~2.6kg
- 氷砕能力(分・標準) / 5.7~10kg
- 外形寸法 / 横幅310×奥行430×高さ475mm
- 重量 / 20kg
- 付属品 / 替刃1枚、水受皿1枚、排水ホース1本
クラッシュ氷用容器

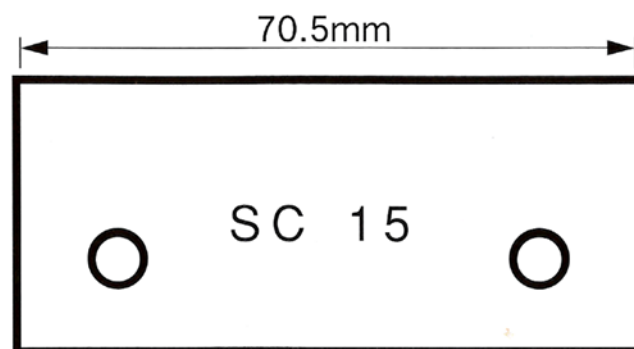
● 仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更する場合があります。

使用刃物原寸

SC-30



SC-15



保証とアフターサービス

1 保証書 保証期間はお求めの日から1年間

この製品には保証書が添付されていますので
所定事項の記入および記載内容をお確かめい
ただき、大切に保存してください。

2 アフターサービスについて

修理を依頼されるとき

お求めの販売店にご連絡いただき、保証書
をご提示ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合はご希
望により有料で修理いたします。

3 アフターサービス等について、 おわかりにならないとき

お求めの販売店にお問合わせください。



池永鉄工株式會社

本社 大阪市東成区東今里3丁目18番26号
〒537-0011 TEL (06) 6981-0141(代)
FAX (06) 6976-8628

東京 東京都三鷹市下連雀3丁目42-15-603
〒181-0013 TEL (0422) 40-1160
FAX (0422) 40-1180
工場 大阪・四日市・南部